

広報

2022年
No.375

8/1

かみす

Pick up

- ▶ 新型コロナワクチン接種
- ▶ 中小企業事業資金利子補給費補助金



まちの魅力再発見

キャンプ

体験！日川浜オートキャンプ場

星空を眺めながらたき火を囲み、いつもとは違った少し深い会話を楽しむ。キャンプの魅力の一つは、非日常の体験です。茨城県は全国屈指のキャンプ場の数を誇り、神栖市にも5つの施設があります。そこで日川浜オートキャンプ場を紙上体験。キャンプの楽しさとオートキャンプ場の魅力を紹介します。

AR

広報かみすが
動き出す



[COCOAR]



アプリをダウンロードし
表紙にスマートフォンを
かざしてください。
詳細は12ページ

キャンプ

体験！日川浜オートキャンプ場

茨城県は全国有数のキャンプ場の宝庫で、神栖市にも自慢のキャンプ場がいくつもあります。今回は市営日川浜オートキャンプ場を訪ね、初めての人も気軽に体験したくなるような、キャンプの魅力や楽しみ方を探ってみました。



身近にキャンプ場がいっぱい

キャンプと聞くと、「道具がない」「やるのが多くて大変そう」と思ってしまう、行きそびれている方もいるのでは？ でもそんなに難しく考える必要はありません。例えば、屋外でご飯を食べたり本を読んだりするだけで新鮮な気分になりますよね。キャンプの入り口は、それくらい身近なのです。

コロナ禍で密を避けて換気に気を付ける生活が続く中、屋外で安心して楽しめるレジャーとしてキャンプの人氣が高まっています。実は茨城県は全国でも有数のキャンプ場数を誇っているのをご存じですか？ 県

内各地に山、海辺、川辺、湖畔とバラエティに富んだキャンプ場があり、静かな環境で自然と触れ合えると人氣を呼んでいます。

神栖市内には、水辺の自然を満喫できる5つのキャンプ場があります。今回は日川浜オートキャンプ場を訪ねてみました。

ファミリーや初心者にやさしく安心

日川浜オートキャンプ場がオープンしたのは1992年。「安全・清潔・快適で、施設の整ったキャンプ場」として、日本オートキャンプ協会による評価で『3つ星』に認定されています。オートキャンプ場とは、サイト（テントなどを張って拠点と

する空間）まで車を乗り入れることができるキャンプ場のこと。市内や県内はもちろん、都心から車で90分とあって広く関東全域から利用者が訪れます。まず、どのような人たちに人氣があるのか、スタッフの植村哲哉さんに聞いてみました。

「ファミリー層が多いことと、キャンプの地として選ばれることが多いのが特徴です。その理由は、温水の出る炊事場、シャワー室、水洗

洋式トイレ（バリアフリー）、エアコン完備のキャビンなど、設備が充実しているから。しかもほぼ全サイトにAC電源が付き、夏場は扇風機や小型冷蔵庫、冬場はホットカーペットが使えますので、本格的なキャン

プというより手軽なアウトドア感覚で楽しまれる方も増えていますよ」

なんと、初キャンプにぴったりな「手ぶらプラン」まであり、テントの設営や撤収が不要で手軽にキャンプを体験できるそうです。他にも、日帰りキャンプや日帰りバーベキューなどのプランも豊富にそろっています。

自慢の芝生サイトと生け垣が生むプライバシー感

さあ、植村さんの案内で場内を歩いていくと、道路の両側に生け垣でコの字型に囲まれたサイトが整然と並んでいます。地面は全面芝生。まるで緑豊かな庭園のような雰囲気です。

「生け垣があると両隣の視線を気にしないで過ごせますし、防音効果もあります。自分たち専用の空間でプライバシー感を満喫できると、とても喜ばれています。また、芝生サイトも自慢です。芝生は、テントを固定するペグが刺さりやすい、水はけが良く雨でも水たまりがでない、土埃がたないなど、メリットがたくさんあります。芝生を維持するた



スタッフの植村さん



①



②



③



④

①②管理棟の売店ではまきや炭のほか神栖市産の干物なども購入できる ③神栖のキャンプにピーマンは欠かせません ④ゆったりとした贅沢な時間を過ごせる

さあ
料理の準備



神栖市産の缶詰が
売店で購入できる



キャンプといえばバーベキュー

紙上体験 日川浜オートキャンプ場



トントントン！
テント設営中



火起こしのコツはまきを高く積むこと



風車が見えるキャンプサイト

めの芝刈りや水やりなどの管理は大変ですが、お客さまを良いコンディションでお迎えしたいので手は抜けません」

ここにテントやタープ（日差しや雨を防ぐ布の屋根）、テーブル、チェアなどをセッティングして、自分好みの「陣地」を作るのも楽しみの一つ。分からないことはスタッフに質問を。



スタッフの助川さん

今回、火起こしなどを手伝ってくれた助川正悟さんは、「スタッフはみんな根っからのキャンプ好きなので、質問されたり頼られたりすると、教えるというよりは一緒になって楽しむ感覚でお手伝いします。ぜひお気軽に声を掛けてくださいね」と話してくれました。

徒歩3分の海で思い切り遊ぶ

拠点ができたら、あとはどう過ごすのも自由。日川浜オートキャンプ場のおすすめは、なんといっても「海」です。日川浜海水浴場までは徒歩3分。海水浴、釣り、潮干狩り（4～6月）、サーフィン、砂遊びのほか、浜辺や1000人画廊の散歩など楽しみ方はいろいろ。釣り道具

はレンタルすることができ、釣り上げた魚をサイトに持ち帰ればバーベキューが一層豪華になります。もし釣れないまま戻ってきて大丈夫。波崎漁港で水揚げされた魚の干物や缶詰を売店で購入できるので、海の幸を思う存分味わえます。

また、場内では貝殻アートやクイズラリーをはじめさまざまなイベントが開催されており、子どもたちに大人気。ちょっと疲れたら、最寄りの温浴施設「ふれあいセンター湯楽々」や天然温泉「ゆーぱー」とはさき」でひと休みすることもできます。

夜は静かに満天の星を眺める

「私たちの生活はどんどん便利になり、毎日テレビやスマートフォンから膨大な情報が入ってきます。そういう日常から解放たれて、心休



海鮮バーベキュー



日川浜海水浴場



たき火はキャンプの醍醐味

まる時間を持てるのがキャンプの最大の魅力。たき火をばーっと眺めるだけでも本当に癒やされますよね」と植村さんは言います。確かに、現代社会では何もしない時間を持つことが最高の贅沢かも。そして、便利さを求めるのではなく、ちょっとした不便を面白がるような大らかさもキャンプの醍醐味といえそうです。

も、「夜は星がきれいでした」というコメントがチラホラ。「こんなにルールが守られていて治安の良いキャンプ場は初めて、と驚くお客さまも少なくありません。ひとえに皆さまのご協力のおかげです。夜は早く寝て、太陽とともに目覚める。人間本来の生活リズムを整える上でも、キャンプは一役買っているのではないのでしょうか」



こうしたマナーの良さに惹かれて何度も訪れる人が多く、キャンプ歴数十年という上級者にも好まれているそうです。

災害時に役立つキャンプ用品

ところで、キャンプ用品は災害時にも役立つと注目されています。植村さんが経験談を交えて話してくれました。

「東日本大震災で停電した時に、自宅にあったキャンプ用の給水タンク、ランタン、ガスバーナーなどがとても役立ち、温かいご飯を食べたり、タオルで体を拭いたりして、あまり不自由なく過ごすことができました。もし避難所に行ったとしても、

テントを使ってプライベート空間を確保できたと思います。ただ、いくら道具があっても災害時にいきなり使いこなすのは難しいので、キャンプで体験しておくことをおすすめします」

まず、日川浜オートキャンプ場で道具をレンタルし、使い勝手を確かめてから必要なものを少しずつそろえていく。そうすれば、いざというときにも使いこなすことができそうです。



近所で気軽に非日常体験を！

設備が整った安全なキャンプ場が家の近くにあるのは、とても便利。移動時間が短い分、楽しむための時間をたっぷり確保できます。また、慣れないうちは遠方に出かけて困ったことがあると、キャンプへの印象が悪くなりがち。でも家のそばなら忘れ物を取りに戻ることだって簡単にできます。

「私たちは、キャンプの第一印象を自分たちが作っていくという気持ちを持っていきます。そのために大切なのは、まず自分たちが楽しんでお客さまを迎えること。そうしてアウ

トドアに親しんでもらい、どんどんキャンプを好きになってもらうことが、スタッフみんなの願いです。市民の皆さんには、近所の公園に立ち寄る感覚でお越しいただけたらうれしいですね」

予約は2カ月前の1日から受け付け開始。土日や連休などはすぐに埋まってしまうますが、キャンセル待ちも可能です。平日なら直前でも予約が取りやすく、すいていると一層プライベート感が高まるので狙い目です。自宅のすぐ近くで得られる非日常体験を求めて、気軽に出かけてみませんか？

日川浜オートキャンプ場

〒203-124 神栖市日川 0299-97-0567